

令和5年度 児童発達支援自己評価表 集計結果

		項目	はい	いいえ
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	6	3
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5	4
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	9	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	
	⑯	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	8	1
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容役割分担について確認しているか	8	1

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7	2
	⑲	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	8	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)知己の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関を連絡態勢を整えているか	6	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園や特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議へ積極的に参加しているか	8	1
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	
	保護者への	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6
㉜		運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	
㉝		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	
㉞		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	9	
㉟		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3

説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	9	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。	8	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	8	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもの保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	1

意見等 ① 利用者数は適切であるが、定員となると足りないと思う。

② 配置基準的には適切

③ トイレに段差がある。

移転した先は段差が大きいところが多々ある。期間限定とは言え不便を感じることもある
スロープがない・段差があるなどバリアフリーとは言えない

環境として既存の建物を利用しているため整っていないところもある

⑧ コロナ禍を経て、法人として第三者評価の入り方を協議している状況

⑨ 個人的には、最低限の参加になってしまっている。自主的に取り組めていない。

⑪ 共通のチェック式のツールなどがあると良いと感じる

⑭ グループ活動についてはチームで行っているが、立案者に偏りがある

⑮ 固定化しないようにしているつもりですが、難しいです。

⑯ 個別活動かグループ活動かの選択制で行っている。

⑰ 振り返りの時間は充分に取れていない。終了後にポイントの確認はしている。

- ②③ 現在医療的ケアを必要とする子が通園していないので、該当しない項目
- ②④ 現在医療的ケアを必要とする子が通園していないので、該当しない項目
- ②⑦ 当町や近隣に児童発達支援センター・障害者支援センターがない。お子さんが通っている専門医とは状況の連絡書等で連携を取っている。
- ②⑧ 3歳児以降では、保育所・幼稚園と平行通園しているケースがほとんどであるため、とりわけ交流の機会を設けてはいない。
- ②⑨ (個人的に)参加できていません。
- ③① 家族支援のための個々のケースに合わせたアドバイスや面談は随時行っている。
- ③⑤ 交流が主の目的ではなく、保護者に子どもの特徴理解や対応力の促進のため保護者学習会を行っている。
- ④⑩ 個人情報取り扱いもあり、地域住民がみだりに入ることはない。
- ④① 防犯マニュアルはない。
- ④⑤ ヒヤリハットがあった場合には、所定の用紙により報告し、職員全員で回覧・確認している。
ヒヤリハット概念が緩くなってきているように感じるので注意が必要
- ④⑦ 権利擁護・虐待防止研修にて内容を共有している。現在身体拘束の必要とするお子さんはいないので記載していない。